





### 学校教育診断から思うこと

校長 川口貞美

もう例年のこととなりましたが、学校教育診断へのご回答、ありがとうございます。約95%もの回収率がありました。これは本校への期待と励ましの表れと受けとめています。ありがとうございます。

さて、例年のように一つの目安として、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合の合計が80%に達したものを良好ととらえて全体を見ました。すると、だいたいの項目について80%を超える評価を得ることができました。これについては、本校の教育活動が保護者のみなさま方にほぼ理解していただいていると受けとめ、ありがたく思っております。

しかしながら、少数であれ、不満を感じておられる方があることについては深刻に受けとめております。また、現状に満足せず、さらなる改善を図ることは当然と思っております。例年、似たような課題をいただきながら劇的な改善とはいかず申し訳なく思っておりますが、この学校教育診断を教育活動改善の手がかりにしていることはお伝えしたいと思います。

10項目の中で、6「先生は、わが子を理解し、よい点を見つけてほめてくれる」に、「よくあてはまる」が特に多いことを、うれしくありがたく思いました。教師と、児童や保護者との信頼関係が全てのベースだと思っているからです。

7～10の項目の、授業のことや学習状況についてのコミュニケーションに関する内容では、高学年になるほど課題を感じておられる保護者が多いように思いました。そのようなときには、ご遠慮なく、学校にお知らせください。担任はもちろん、管理職を含め、どの教職員でもお話を伺います。

4「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目については、他の項目に比べて否定的な回答がやや多いという結果でした。学校としては、いじめが起きた時の対応はもちろん、「やさしさ」や「規範意識」をはぐくむ道徳教育、集団づくりを大切に活動などを通じて、仲よく楽しく、いじめのない学校づくりに力を入れているつもりなのです。しかしながら、現実には子どもどうしのトラブルは起こります。本校は児童数が多いので、その分トラブルも多くなると思います。その辺を保護者のみなさまが不安に思われたのではないかと感じました。いじめに関して、情報や気になることがありましたら、学校に連絡をいただきたいと思います。今後も「いじめのない学校づくり」に特に力を入れて改善を図りたいと思います。

いつもいつも同じことを申し上げますが、学校と家庭、そして地域が理解し合い、協力し合って、子どもたちをよりよい方向に成長させたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。